(11)Publication number:

08-091524

(43) Date of publication of application: 09.04.1996

(51)Int.CI.

B65G 15/54 A47J 37/12

(21) Application number: 06-229351

(71)Applicant:

ACE KOGYO KK

(22) Date of filing:

26.09.1994

(72)Inventor:

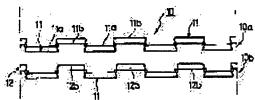
AOYAMA MASANORI

(54) CONVEYOR NET

(57) Abstract:

PURPOSE: To facilitate the assembling work and disassembling work by inserting multiple right-angle fold sections of a connecting net element to irregular sections of a net element located at the end section of a belt like conveyor net, and connecting the other end of the conveyor net and the connecting net element with multiple clamp metals into an endless shape.

CONSTITUTION: Both end connection sections 10a, 10b of a beltlike conveyor net 10 are connected by a connecting net 12. The connecting net element 12 has hook sections at both end sections, each hook section has multiple fold sections 12b folded nearly at a right angle, and the fold sections 12b can be combined with the loop sections 11a, 11b of a net element 11. The connecting net element 12 is combined with one end of the beltlike conveyor net 10, then the loop sections 11b and fold sections 12b are connected by clamp metals into an endless shape. The end sections of the conveyor net 10 can be easily connected or simply removed, and the inspection and cleaning is facilitated.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

25.09.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of

rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

庁内整理番号

(11)特許出顧公開番号

特開平8-91524

(43)公開日 平成8年(1998)4月9日

(51) Int.CL

戰別配号

PΙ

技術表示箇所

B65G 15/54

A47J 37/12

351

審査節求 未離求 節求項の数2 OL (全 4 頁)

(21)出顧番号

(22)出顧日

特顧平6-229351

平成6年(1994)9月26日

(71)出廢人 594159191

エース工業株式会社

埼玉県狭山市大字根岸 689-1

(72)発明者 青山正則

埼玉県狭山市大字根岸 689-1 エース

工業株式会社内

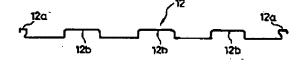
(74)代理人 弁理士 佐々木 功 (外1名)

(54) 【発明の名称】 コンペアネット

(57)【要約】

【目的】 組立て作業や分解作業が容易にできるコンベアネットを提供することにある。

【機成】 ネット素子を編み込んで形成した帯状のコンベアネットにおいて、前記ネット素子に近似すると共に複数の直角折曲げ部を有した接続用ネット素子と、両端に略円形の挟み部を有したクランプ金具とを備え、前記接続用ネット素子の複数の直角折曲げ部を帯状コンベアネットの端部に位置するネット素子の凹凸部に差し込んで組み込むと共にクランプ金具で連結し無端状としたので、組立て作業や分解作業が容易にできる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の凹凸部有したネット素子を編み込 んで形成した帯状のコンベアネットにおいて、前記ネッ ト索子に近似すると共に複数の直角折曲げ部を有した接 続用ネット素子と、両端に略円形の挟み部を有したクラ ンプ金具とを備え、前記接続用ネット素子の複数の直角 折曲げ部を帯伏コンベアネットの端部に位置するネット 素子の凹凸部に差し込んで組み込み、前記コンベアネッ トの他端と前記接続用ネット素子とを複数のクランプ金 具で連結し無端状としたことを特徴とするコンベアネッ 10 結し無端状としたものである。また、前記接続用ネット

【 請求項2 】 前記接続用ネット素子は、コンベアの幅 方向に連続した1本の設計である亭を特徴とする論求項 1記載のコンベアネット。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、自動フライヤー等の調 理器或いは食器加工機に使用され、食品を搬送するコン ベアネットの改良に関するものである。

[0002]

【従来の技術】一般に、従来のコンベアネットは、図6 ~10に示すように、1本の接続用ネット案子5によ り、両端が接続されて無端状に形成される。そして、こ の接続用ネット素子5は、スプロケットや受けレール等 の接触しない位置を選んで、小素子5 a、5 b、5 c、 5 dの4個に切断されて構成される。これは、同形のネ ット素子を凹凸部が昭扇状に拡大しているので、差し込 んで接続する事ができないからである。また、小素子5 a. 5 p との直線部の長さ比は、例えば、3:7に切断 m程度の空隙が生じる様にカットする。この様な構成の コンベアネットは、図8に二点鎖線で示すように長い方 の片を先に組み込んでから、次に短い片を組み込みま す。全部の小素子を組込んでから、夫々の切断部にスリ ープ6を挿入した後、ペンチ、クリッパー等で抜けない 様に加締める。

【りりり3】この様にして、コンベアネットの端部を接 続し無端状のネットコンベアを構成し、調理器等に使用 する。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】ところで、上述した従 来のコンベアネットにおいては、接続の際の租立て作業 が煩雑で、能率の悪いものであった。また、各小素子を 加締めたスリーブ6は、押し潰してしまう為、修理や掃 除の際に分解する場合にこれらのスリーブを破棄しなけ ればならず、作業性が悪いという欠点が存在した。

【りりり5】本発明の目的は、上述した従来の欠点に鑑 みなされたもので、組立て作業や分解作業が容易にでき るコンベアネットを提供することにある。

[0006]

【課題を解決するための手段】本発明に係るコンベアネ ットは、複数の凹凸部有したネット素子を編み込んで形 成した帯状のコンベアネットにおいて、前記ネット素子 に近似すると共に複数の直角折曲げ部を有した接続用ネ ット素子と、両端に略円形の挟み部を有したクランプ金 具とを備え、前記接続用ネット素子の複数の直角折曲げ 部を帯状コンベアネットの端部に位置するネット素子の 凹凸部に差し込んで組み込み、前記コンベアネットの他 端と前記接続用ネット索子とを複数のクランプ金具で連 素子は、コンベアの幅方向に連続した1本の銀材であ

2

[0007]

【作用】このように、本発明に係るコンベアネットは、 クランプ金具が容易に取り付け、取り外しが容易にでき るので、保守、点検、清掃等に便利である。

[0008]

【実施例】以下、添付図面に従って本発明の一実施例を 説明する。図1は、本発明の一実施例であるコンベアネ ットの接続部を示す正面図、図2は、本発明の一実施例 であるコンベアネットの接続部を示す斜視図、図3は同 コンベアネットの接続状態を示す斜視図である。ここ で、コンベアネット10は、多数のネット素子11が夫 っの端部及びループ部11a,11bが編まれて帯状の ネットが形成されている。

【0009】帯状のコンベアネット10の両端接続部1 Oa. 10bは、接続用ネット案子12で接続されてい る。接続用ネット素子12は、図1に示すように両端部 にフック部12a、12aを有するとともに、略直角に されている。図7に示す様に切断部を更に、AT=2m 30 折曲された複数の折曲げ部12bを有している。この折 曲げ部12 bは、略直角であるのでネット素子11のル ープ部11a:11hにそのまま組み込む亭ができる (図2参照)。

> 【0010】帯状のコンベアネット10の一端に接続用 ネット素子12を組み込んだ後、クランプ金具13でル ープ部11カと折曲げ部12カとを接続する(図3参 照)。クランプ金具13は、図4に示すように両端に略 円形のクリップ部13aが形成されている。クリップ部 13aは、ネット素子11の径よりやや小さく構成され 40 ている。また、弾性素材、例えば鋼材等で構成されてい る。

【0011】図5は、本発明のコンベアネットを使用し た、フライヤーを示す全体斜視図である。ここで、フラ イヤーは、ヒータ及び各駆動部を制御する制御盤15と 両端部のローラに接回されたコンベアネット10を回転 駆動するモータ16と抽着17とカス取りコンベア1 8. ヒータボックス19等から構成されている。

【0012】以上ように構成されたコンベアネットを使 用したフライヤーにおいて、コンベアネット10に抽力 50 ス等が付着した場合、先ず、接続部のクランプ金具13

をベンチ等で取り外す。すると、図2に示すようにコンベアネット10は、接続部で容易に分割できる。コンベアネットが接続部で分割できると、フライヤーから容易に取り外す亭ができる。

【0013】との様に、本発明のコンベアネット10は、クランプ金具13を取り外すのみで手軽に分割する 字ができる。取り外したコンベアネット10は、掃除、清掃が容易である。また、フライヤーに取り付ける場合には、両端に配設されたローラに巻き付けた後、接続部 にクランプ金具13を取り付ける字により簡易に接続で 10きる。

【0014】また、以上の実施例では、コンベアネットをフライヤーに使用した場合について説明したが、これに限る亭なく、他の調理器等に使用してもよい。尚、本発明は以上の実施例に限ることなく本発明の技術思想に基づいて程々の設計変更が可能である。

[0015]

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明に係るコンベアネットによれば、複数の凹凸部有したネット素子を編み込んで形成した帯状のコンベアネットにおい 20 て、前記ネット素子に近似すると共に複数の直角折曲げ部を有した接続用ネット素子と、両端に略円形の挟み部を有したクランプ金具とを備え、前記接続用ネット素子の複数の直角折曲げ部を帯状コンベアネットの端部に位置するネット素子の凹凸部に差し込んで組み込み、前記コンベアネットの他端と前記接続用ネット素子とを複数のクランプ金具で連結し無端状としたので、コンベアネットの端部接続が容易にできる。また、簡単に取り外しが出来るで保守、点検や掃除が容易である。更に、接続用ネット素子は、コンベアの幅方向に連続した1本の複 30 材であるので、組み付け及び取り外しが容易である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例であるコンベアネットの接続 部を示す正面図である。

【図2】本発明の一実施例であるコンベアネットの接続*

*部を示す斜視図である。

【図3】同コンベアネットの接続状態を示す斜視図である。

【図4】 同コンベアネットの接続部に使用されるクランプ金具を示す正面図である。

【図5】本発明のコンベアネットを使用したフライヤー を示す斜視図である。

【図6】従来のコンペアネットの接続部を示す説明図である。

3 【図7】従来のコンベアネットの接続部を示す説明図である。

【図8】従来のコンベアネットの接続部を示す説明図である。

【図9】従来のコンベアネットの接続部を示す説明図である。

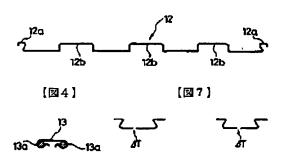
【図10】従来のコンベアネットの接続部を示す拡大断 面図である。

接続用ネット素子

【符号の説明】

•	Shipping a coles
6	スリーブ
10	コンベアネット
10a,b	両端接続部
1 1	ネット案子
lla,b	ループ部
12	接続用ネット素子
12 a	フック部
12 b	折曲げ部
13	クランプ金具
13 a	クリップ部
15	制御盤
16	モータ
17	油槽
18	カス取りコンベア
19	ヒータボックス

[図1]



[図2]

